

令和 4 年 2 月 15 日

第 65 回 飯田市社会福祉大会大会長挨拶

飯田市社会福祉協議会会長 中島 武津雄

○ 皆さんこんにちは。ご紹介をいただきました飯田市社会福祉協議会の中島武津雄でございます。開会にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

○ 本日は「第 65 回飯田市社会福祉大会」を計画いたしましたところ、現下の新型コロナウイルス感染症対策によります「まんえん防止等重点措置」対象地域として、長野県も指定を受けております関係から会場の使用制限、集会等の自粛などが求められております状況下では、予定しておりました県文化センターでの大会について開催方法を変更するという判断をさせていただきました。誠に残念ではありますがご理解を賜りたいと思います。

○ 今大会は zoom でつなぎ YouTube で配信するという感染症対策に配慮した、リモート大会・会議に変更させていただき、それぞれの会場・ご家庭で講演、シンポジウム等を視聴いただければと思います。

○ さて、本大会では長年地域福祉に関わられた方、役割を担われた方には表彰状を、また、ボランティア活動をされている方等には感謝状をお渡しすることとしておりましたが、叶いませんでした。改めて表彰状・感謝状をお届けさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○ 昨今の社会情勢の中で、地域及び地区の社会構造の変化や、複雑化した家庭環境・生活環境などが影響してか、地域コミュニティへの未加入問題、個別化、孤立化などの問題などが喫緊の課題となっておりますが、現在の福祉制度では対応が難しく、改

めて地域の力、繋がり、いわゆるご近所のお互い様の力こそが大事だとつくづく思うところでございます。

○ 住み慣れた地域に住み続けられる社会の構築は、「言うは易く行うは難し」の言葉通り簡単ではありません。しかしその目標に向かって、子供から高齢者、又、障がいを持たれる方などを、地域で見守り支えあう心の醸成、行動が何よりも大切だと思います。

○ 本大会趣旨でもあります「地域共生社会」の実現に向けて、本日の地域福祉活動推進研修会では、「身近な地域で共生社会の実現を目指して」と題して、医療経済研究機構・主席研究員であります服部真治先生からのご講演、川路・鼎両地区からの事例発表の後に、講師の服部先生にも参加していただきシンポジウムを開催することとしております。

○ この講演・事例発表・シンポジウムを通じて、今回の大会趣旨であります「地域共生社会の実現」に向けて、それぞれの地域でそれぞれの団体、組織、個人がどう繋がり合って、活動していくかについて意識を共有し、話し合いの場を持っていただければ有難いと思います。

○ 最後になりますが、表彰状、感謝状をお渡しする皆様と、日頃福祉にご理解を頂いております多くの市民の皆様に深く感謝を申し上げ、今後なお一層ご支援ご協力を賜ることを切にお願いすると同時に、皆様のご健勝ご多幸を祈念しご挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。